

# 大麦の出穂予想と 今後の管理

長岡農業普及指導センター  
麦作情報No. 3

代表電話 0258-38-2557

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

## 今後管理とポイント

- ・ 止葉抽出期追肥を施用しましょう！
- ・ 赤カビ防除を適期に必ず2回実施を（出穂期の最終確認はほ場で！）

## 1 生育状況

- 今年の根雪期間は30日間と過去10年の平均より32日短くなりました。
- 管内の莖立期は3月30日（前年差 +7日、平年差 +4日）となり、平年よりも生育はやや遅めでしたが、4月に入り高温傾向となったため、止葉抽出期は管内平均4月8日頃（平年差 -1日）と早まりました。
- すでに止葉抽出期を迎えているほ場が多く見られます。まだ止葉抽出期追肥を実施していないほ場では、早急に追肥しましょう。

## 2 止葉抽出期・出穂期予想

地域	止葉抽出期	出穂期（予想）
長岡・三島	4月8日～4月11日	4月18日～4月26日頃
寺泊・出雲崎※	4月5日～11日	4月15日～4月26日頃

※4/14からの5日間の平均気温が平年よりも+2.4℃と高くなる（4/8気象庁発表）と予想され、出穂期が早まる可能性があります。ほ場ごとに確認を行いましょう。

※寺泊・出雲崎は、生育のばらつきが大きいので、ほ場毎に生育を確認しましょう。

## 3 赤かび病防除の徹底（適期の2回防除を必ず実施！）

### (1) 感染・発生

- ・ 開花期から乳熟期に感染し、収量や品質を低下させる。
- ・ 症状等は穂の病斑部に淡紅色のカビを生ずる。
- ・ 出穂期～乳熟期に雨が多い高温年に多発する。

### 【赤カビ被害粒の基準】

食用麦の農産物検査基準(規格)では、赤かび粒の混入限度は0.0%。

⇒ 10,000粒に5粒赤かび粒があると規格外になります。

### (2) 防除時期（被害粒の発生を抑制するため、適期の2回防除が重要！）

- ・ 防除適期：1回目 ⇒ 開花始めから開花期（出穂期の4～7日後頃）

※ 開花を始めた時（開花始め）から全ての花が咲き終わるまでに1週間ほどかかる。

2回目 ⇒ **1回目の7～10日後**

※ 防除は適期を逃さないことが重要であり、防除適期に降雨が多い場合であっても晴れ間を利用して、確実に防除を実施する。